

令和元年度 花園第三保育室 自己評価分析と今後の課題

園内評価より	
I 保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね「よくできている、まあまあできている」と評価。 ・課題としては、園の教育理念・教育方針の理解で「園長や主任と話し合い、保護者に説明できる」が2人の保育者が「あまりできていない」と評価。短時間勤務の保育者にも浸透するような工夫が必要
II 保育の在り方、幼児への対応	(花園第三保育室には幼児がないため割愛)
III 保育者としての資質や能力・良識・適性	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の職員が、保育者としてのマナーや義務の理解、組織の一員としての自覚は有と評価。 ・専門家としての能力の「保育者並びに他職員が仕事の手順を考え、効率的に行っている」も2人の保育者が「あまりできていない」と評価。仕事を行う中で、いかにスキルアップしていくのかが課題。
IV 保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね保護者への対応守秘義務についての評価は高い
V 地域の自然や社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々との挨拶などは「できている」と評価。 ・施設の性質上(未満児のみ)のためか、小学校と連携については半数以上の保育者が「あまりできていない」と評価。なかには「全くできていない」と評価する保育者も。連携施設(花園第二こども園)と連携しながら、興味を持てるような工夫が必要。
VI 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・研修・研究への意欲・態度の「自分の保育については自己課題を持って計画と反省を行うとともに、保育の在り方や悩みについて他保育者や主任、園長を話し合っている」が「あまりできていない」と半数の保育者が回答。 ・保育の専門知識以外への関心が低いと評価。
VII 保育の在り方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての項目において「できている」という評価が多くみられる。

利用者評価より	
★家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・「意見・苦情はなかった」「言いやすかった」を合わせると9割超の評価。園児・保育者数ともに少ない為か、コミュニケーションが取りやすいようである。 ・園日より、一日保育士体験に関しては全家庭が読んだり、参加したりしており興味関心の高さがうかがわれる。園のホームページは9割の家庭が閲覧経験ありと回答。 ・欄外記述で、子どもの担当が誰かわからないとの指摘もあったので、わかりやすく伝える工夫が必要。
★カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> ・園の基本方針や保育方針に関して、「知っている」「少し知っている」との回答が9割。また、わが子が充実した園生活を過ごしていると感じているのが10割であった。 ・園が子どもの人権を守っており大切にしているという評価は9割、園内の評価とも一致する。
★環境	<ul style="list-style-type: none"> ・園内の清掃環境、雰囲気に関しては高評価。 ・保育者のコミュニケーションや言葉遣い、あいさつについても概ね評価が高い ・今後も小規模施設の利点を生かし、保護者との連携を密にしていく。。